



猛暑の多摩川干潟調査

あまりにも暑いこの夏、調査する我々にもこたえます…

水の中に入ってもまるでお風呂に入っているかのような暖かさ、

そんななか、干潟の生き物はどのように暮らしているのでしょうか、盛夏の多摩川調査結果をお伝えいたします。

今月のおさかな



カワハギ！？フグ！？ いいえギマです

地曳網では、おなじみのビリンゴ、マハゼがとれましたが、数はやや少なかったです。アミ類も姿を消し、シラエビも少なく、やや寂しい印象。生き物も暑さから逃れるため、やや深いところにいるのかもしれませんが。特に浅い場所を好むマサゴハゼがとれました。今回の注目はギマです！ひし形で、背びれがトゲのようにとがった、独特なかたちをした幼魚が群れで入りました。今後も見られるか注目です。

今月の人気者



ガンテンイシヨウジ

今回、人気だったのはガンテンイシヨウジです。東京湾にはこの10年ぐらいでよくみられるようになりました。今回とれた個体は特に色鮮やかでとてもカッコイイです！

秋になるとまたみられる生き物が変わると思われます。次回の調査もお楽しみに！